

サンフランシスコで北米同窓会を開催

8月30日(土)、米国サンフランシスコのTaj Campton Placeで大阪大学北米同窓会が開催され、大阪大学国際医療シンポジウム Go Global 3・北米センター開設 10周年イベントが行われました。医学部附属病院未来医療開発部が進めているグローバル医療の取り組み等の報告がありました。同窓会には、北米地域の大学に留学中の学生、海外インターンシップに参加している学生等も参加し、集まった70名余りの卒業生のみなさんと親交を深めました。



歯学部附属病院にガンバ大阪選手のグッズを展示

9月9日(火)、歯学部附属病院の1階エントランスホールに、ガンバ大阪の野呂輝久社長出席のもと、展示の除幕式が行われました。この展示台には、大阪大学とフレンドシップ協定を締結しているガンバ大阪から寄贈された遠藤保仁選手のサイン入りユニフォームやガンバ大阪の選手のサイン入りボールが展示されています。



野呂社長

「イノベーション・ジャパン 2014」

阪大から全国最多の14件の研究成果を発表

9月11～12日、500を超える大学、ベンチャー企業等が研究開発の成果を展示・発表する国内最大規模のイベント「イノベーション・ジャパン 2014」が東京ビッグサイトで開催され、大阪大学は全国最多の14ブースで研究成果を展示・発表しました。ブースでは、大阪大学の青いハッピーを着た教員が案内し、阪大の産学連携の成果に興味を持った多くの企業の担当者が訪れました。当日は、装置・デバイス、情報通信、ナノテクノロジー、ライフサイエンス、マテリアル・リサイクル、医療の категорияにおける阪大の産学連携の研究成果をアピールするよい機会となりました。



ロボットのデモンストレーションの様子

【阪大トリビア】 適塾生の出身地の中で1人もいない都道府県が2つあります。どこでしょうか？(答えは35ページ)

- ①北海道 ②青森県 ③東京都 ④鹿児島県 ⑤沖縄県

博士課程教育リーディングプログラム

オールラウンド型7大学シンポジウム 2014 を開催

9月30日(火)、グランフロント大阪・ナレッジキャピタル・カンファレンスルームで、「博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型7大学シンポジウム」(主催:未来戦略機構第一部門(超域イノベーション博士課程プログラム)、後援:日本産学フォーラム)を開催しました。シンポジウムでは、里見朋香・文部科学省高等教育局大学振興課長、帯野久美子・関西経済同友会常任幹事、(株)インターアクト・ジャパン代表取締役が基調講演を行いました。2012年度に採択された京都大学・大阪大学・慶應義塾大学のプログラムコーディネーター3名と経済界の有識者3名によるパネルディスカッションが行われ、将来を見据えた高度人材のあり方を新たな博士人材の育成、社会における博士人材の活用に関する展望をテーマに討論しました。



大阪大学シンポジウム：適塾「平成の改修」を開催

9月21日(日)、大阪大学シンポジウム「適塾『平成の改修』—未来へ守り伝えるために—」を中之島センターで開催しました。

本学文学研究科の村田路人教授が、適塾が開かれた当時、緒方洪庵が行った種痘事業とその意義について基調講演を行い、続いて、大阪くらしの今昔館の谷直樹館長から、適塾をはじめとした町屋建築の歴史的価値と、文化財としての活用について講演がありました。また、座談会では、適塾記念センター江口太郎招へい教授をファシリテーターに、奈良女子大学の瀧野敦夫講師、京都工芸繊維大学の岩本馨講師、文化庁の西川英佑文部科学技官が、文化財を後世に守り伝えていくためにはどうすればよいのか、というテーマでディスカッションを行い、満員の参加者から熱心な質問が続きました。



アサヒビールとの

教職員懇親会を開催

9月19日(金)、アサヒビール吹田工場で恒例の教職員懇親会が開かれました。アサヒビールからは、阪大工学部卒業の川面克行副社長を始め阪大卒業生らも出席、阪大からは名誉教授や退職事務職員、現役の役職員が参加し、にぎやかな会となりました。



挨拶をする川面副社長

七大戦 閉幕



第53回を迎えた全国七大学総合体育大会、通称「七大戦」。

今年は京都大学が主管校での開催で9カ月間に渡り各競技(正式種目43競技)で熱戦が繰り広げられ、大阪大学は総合4位の成績を残しました。参加された学生の皆さん、お疲れさまでした。

